

令和6年度全国学力・学習状況調査結果

◆国語 全体平均正答率:全国・県数値と同程度。(＋5ポイントの範囲内)

【八鹿青溪中学校の生徒の特徴と今後の展望等】

- ・「知識・技能」においては、おおむね好結果であるが、特に「我が国の言語文化に関する事項」が好結果。短歌の表現技法についての問題で好結果。「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」は全国・県数値なみ。
- ・「思考・判断・表現」は、全国・県数値なみだが、やや上回る。特に、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめる問題において好結果。また、短歌の内容について、描写を基に捉える問題において好結果。
- ・領域（「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」）に関する傾向としては、いずれの領域もおおむね好結果であるが、特に「読むこと」が好結果。また、一般的には「書くこと」が苦手な中学生が多い傾向にあるが、八鹿青溪中の生徒は全国・県数値なみの6割5分程度正答。自分の考えが伝わる文章になるように工夫しようとしている。いっぽうで無解答率が高いことが大きな課題。文章を要約する問題でも無解答率が高い。
- ・問題形式に関する傾向としては、「選択式」「短答式」「記述式」のいずれもおおむね全国・県数値と同程度。どうしても記述式で数値が下がるのは全国的な特徴。
- ・文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題。
- ・漢字を書く出題で「満ち足りた」を正答した生徒が約7割5分とまずまずの結果である。ひきつづき漢字練習を継続させたい。
- ・時間をかけて丁寧に指導した分野の問題が好結果につながっている。毎日の漢字練習や、表現技法の種類・特徴について繰り返し指導したことが実を結んだと捉えている。また、説明的な文章の学習では段落の役割について1年生時から積み重ねているので、比較的取り組みやすい問いであったと思われる。
- ・引き続き漢字練習を継続的に取り組むとともに、単なる言葉や文章の理解だけではなく、筆者の意図を探るような深い学びが必要だと考える。そのためには、主体的に学びを深められるような授業づくりがより一層大切になってくる。また、自分自身が書いた文章を校正したり相互に点検したりするような学習も必要である。



◆**数学** 全体平均正答率:全国・県数値と同程度。(＋5ポイントの範囲内)

【八鹿青溪中学校の生徒の特徴と今後の展望等】

- ・「知識・技能」は好結果。正方形の回転移動についての問題や正の数と負の数の計算問題において好結果。また、複数の集団のデータの分布から四分位範囲を比較する問題やグラフの問題などで好結果。いっぽう、与えられたデータから最頻値を求める問題や図形の性質を見い出す問題が課題。
- ・「思考・判断・表現」は全国・県数値なみであるがやや下回る。数学的な表現を用いて説明する問題では好結果。目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する問題で課題あり。無解答率も高い。
- ・領域(「数と式」、「図形」、「関数」「データの活用」)に関する傾向としては、全領域において全国・県数値なみ。その中でも「関数」「データの活用」の問題においては好結果。
- ・問題形式に関する傾向としては、「選択式」が好結果だが、「短答式」「記述式」はともに全国・県数値なみ。ただし、「記述式」は全国的、全県的に課題であり、本校はその数値をさらに下回ることが大きな課題。
- ・図形の証明問題の正答率が極めて低いことが大きな課題である。
- ・無解答率が高い問題が目立ち、粘り強く最後まで解答する力を養いたいところである。
- ・基礎計算には定着が見られるが、証明のような応用問題に課題が見られる。家庭学習では基礎計算が中心になっているが、時には応用問題も取り入れることも検討していく必要があると考える。また、課して返すだけの宿題ではなく、授業で再考させることも有意義なのではないかと考える。
- ・授業では、基礎基本の定着とともに、発展的、課題探求的な学習も取り入れる必要があると考える。授業時数も念頭に置きながら、より計画的に教育課程を進めたい。



◆生徒質問紙調査



(1) 朝食を毎日食べていますか。

【結果】 ほぼ全国・県数値なみ。約9割の生徒が朝食をしっかりと食べている。

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

【結果】 全国・県数値をやや上回る。8割以上の生徒が規則正しく就寝している。

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

【結果】 ほぼ全国・県数値なみ。9割以上の生徒が規則正しく起床している。

(4) 学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)。

【結果】 全国・県数値よりも時間がやや短い。30分程度の生徒が多い。

(5) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。

【結果】 全国・県数値よりは時間が短いものの、3時間以上の生徒が2割近くも居る。

(6) 普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)。

【結果】 全国・県数値よりは時間が短いものの、3時間以上の生徒が1割以上も居る。

(7) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

【結果】 きちんと守っている生徒が5割近くで全国・県数値を大きく上回る。

(8) 健康に過ごすために、授業で学習したことを保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。

【結果】 役立てているという生徒が9割以上で全国数値・県数値を大きく上回る。

(9) 自分には、よいところがあると思いますか。

【結果】 全国・県数値をやや上回る。8割以上が「ある」と回答し、自己肯定感が強い傾向にある。

(10) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

【結果】 全国・県数値をやや上回る。9割以上が「教師から認められている」と感じている。

(11) 将来の夢や目標を持っていますか。

【結果】 全国・県数値なみだが、将来を展望することができない生徒が約3割いる。

(12) 人が困っているときは、進んで助けていますか。

【結果】 9割以上が「助けている」と回答し、全国・県数値を上回る。人に優しい生徒が多い。

(13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

【結果】 全国・県数値を上回る。ほぼ10割近い生徒がいじめを許さない強い心を持っている。

(14) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

【結果】 6割以上が「相談できる」と回答しているが全国・県数値を下回る。数値を上げる努力が必要。

(15) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

【結果】 全国・県数値を上回り、ほぼ10割近い生徒が「役に立ちたい」と回答。

(16) 学校に行くのは楽しいですか。

【結果】 8割以上の生徒が「楽しい」と回答しており、全国・県数値をやや上回る。

(17) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

【結果】 8割以上が「楽しい」と回答しており、全国・県数値を大きく上回る。会話を好む傾向がある。

(18) 友達関係に満足していますか。

【結果】 9割以上が満足しており、全国・県数値を上回る。

(19) 普段の生活の中で幸せな気持ちになることはありますか。

【結果】 9割近くが「幸せ」と回答しており、全国・県数値なみ。



(20) 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

【結果】 「できている」「どちらかといえばできている」が8割近くで全国・県数値なみ。

(21) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

【結果】 2時間以上の生徒が約1割。全国・県数値を大きく下回る。ちなみに、3時間以上勉強している生徒は約4%にとどまっている。

(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾

で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

【結果】3時間以上勉強している生徒は全国・県数値を大きく下回る。また、1時間未満の生徒が約3割近く居る。4時間以上という生徒は0%。

(23) あなたの家にはどれくらいの本がありますか。(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)。

【結果】ほぼ全国・県数値なみ。蔵書数100冊以上が約3割である。



(24) 新聞を読んでいますか。

【結果】ほとんど読まない生徒が約6割。ただし、「ほぼ毎日読んでいる」、「週に1~3回読んでいる」の数値は約2割で全国・県数値を上回る。

(25) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

【結果】「思う」「どちらかといえば思う」が約8割と全国・県数値をかなり上回る。頼もしいかぎりである。

(26) 放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。

【結果】「部活動」以外に、「動画視聴・ゲーム・SNS」が多い。「家族と過ごす」は全国・県数値をかなり上回る。

(27) 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

【結果】「ほぼ毎日」「週3回以上」の数値が全国・県数値を大きく上回る。

(28-1) 1、2年生のときの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはどれくらい当てはまりますか。(1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。

【結果】「とてもそう思う」「そう思う」の数値が7割以上で全国・県数値なみ。“個別最適な学び”の実現にICT機器は有効か。

(28-2) 1、2年生のときの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはどれくらい当てはまりますか。(2) 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。

【結果】「とてもそう思う」「そう思う」の数値が9割3分以上で全国・県数値なみ。ICT機器の有効利用をさらに進めたい。

(28-3) 1、2年生のときの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはどれくらい当てはまりますか。(3) 楽しみながら学習を進めることができる。

【結果】「とてもそう思う」「そう思う」と回答した生徒が7割以上で全国・県数値なみ。

(28-4) 1、2年生のときの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のこ

とはどれくらい当てはまりますか。(4)映像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。

【結果】「とてもそう思う」「そう思う」の数値が9割近くで全国・県数値なみ。ICT機器の有効利用をさらに進めたい。

(28-5) 1、2年生のときの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはどれくらい当てはまりますか。(5)自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。

【結果】「とてもそう思う」「そう思う」の数値が7割弱で全国・県数値をやや下回る。表現活動における活用を促進したい。

(28-6) 1、2年生のときの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはどれくらい当てはまりますか。(6)友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。

【結果】「とてもそう思う」「そう思う」の数値が約8割5分で全国・県数値なみ。ICT機器の有効利用をさらに進めたい。

(28-7) 1、2年生のときの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはどれくらい当てはまりますか。(7)友達と協力しながら学習を進めることができる。

【結果】「とてもそう思う」「そう思う」の数値が約9割で全国・県数値をやや上回る。ICT機器の有効利用をさらに進めたい。

(29) 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

【結果】「発表していた」「どちらかといえば発表していた」が5割強で全国・県数値を下回る。発表のしかたについての指導が必要である。ただし、昨年度調査(4割)に比べると大きく上昇した。



(30) 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分から考え、取り組んでいましたか。

【結果】「取り組んでいた」「どちらかといえば取り組んでいた」が約8割。全国・県数値をやや上回るもの、この数値はもっと上げていきたい。

(31) 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

【結果】「行っていた」「どちらかといえば行っていた」が約8割。全国・県数値を上回るものの、この数値

はもっと上げる努力を継続したい。

(32) 1、2年生のときに受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか。

【結果】「なっていた」「どちらかといえばなっていた」が約8割で全国・県数値なみ。文部科学省が提唱する“個別最適な学び”が浸透しつつある。

(33) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

【結果】「できている」「どちらかといえばできている」が約9割でほぼ全国・県数値を上回るし、昨年度調査(8割)も上回る。話し合い活動の充実が図られている。

(34) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

【結果】「できている」「どちらかといえばできている」が8割近くで全国・県数値なみ。これは、「主体的に学習に取り組む態度」のひとつであり、授業の中で“振り返り”と“見通しを持つ”ことが定着しつつある。



(35) 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができるとおもいますか。

【結果】「生かしている」「どちらかといえば生かしている」が約8割で全国・県数値をやや上回る。昨年度調査(約7割)も上回る。

(36) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。

【結果】「教えてくれる」「どちらかといえば教えてくれる」が約8割弱で全国・県数値をやや下回る。丁寧な指導や対応を心がけたい。

(37) 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

【結果】「大切にしている」「どちらかといえば大切にしている」が約5割で全国・県数値を上回る。

(38) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を整理して、調べたことを発表するなどの学

習活動に取り組んでいますか。

【結果】「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」が約8割5分。全国数値なみであるが、県数値よりはかなり上回る。昨年度調査（約7割）を上回る。



(39) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めていますか。

【結果】「そうしている」「どちらかといえばそうしている」が約8割5分でほぼ全国数値なみ。県数値は（約8割）よりやや上回る。

(40) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

【結果】「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」が約8割でほぼ全国数値なみ。県数値をやや上回る。

(41) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

【結果】「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」が約9割強で、全国・県数値をやや上回る。道徳科の授業づくりの研修を進めている成果が出つつある。

